

が楽しくなりますよ。私自身も、この作

アを加えるようにしているんです」  
 例えばイラストの中に出てくる動物に帽子をかぶせたり、おしゃれな女の子たちがくつろいでいるそばにコロコロ(カーペットクリナー)を置いてみたり…。「リアルな描写に少しユーモアを加えることで、全体

能代市在住のイラストレーター・原田りりこさんが手掛ける作品は、パッと目を引く、明るく個性的なタッチが印象的。根強いファンが多く、県内外で年2〜3回の個展を開催するほか、イラストだけでなくポストカードやマグカップ、Tシャツなどのグッズ販売も好評だ。

品にはどこに何を入れようか、なんて考える時間がとても好き。あとは、洋服やアクセサリーにもかなりこだわります。女性の描き手だからこそできることだと思うんです」

「背景が南国だったり肌の色が黒い女性が多いので『どこが日常なの?』と不思議がる方もいるんですが、国や環境が違えば日常も一つじゃないので、さまざまなスタイルを感じてもらえればと思います。とはいえ、私の作品はあくまでもイラストなので、デフォルメできるところが面白いところ。リアルな描写だけでなく、ほんの少しユーモアを加えるようにしているんです」  
 例えばイラストの中に出てくる動物に帽子をかぶせたり、おしゃれな女の子たちがくつろいでいるそばにコロコロ(カーペットクリナー)を置いてみたり…。「リアルな描写に少しユーモアを加えることで、全体が楽しくなりますよ。私自身も、この作

笑顔、かわいらしき、女心…  
 女性の何気ない日常を私らしく



イラストレーター  
**原田りりこさん**

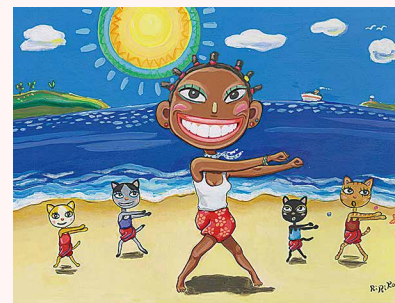
【プロフィール】  
 東京・渋谷区にある桑沢デザイン研究所に在籍中、イラストを描き始める。その後、着物柄のデザイン会社勤務を経てフリーランスに。現在は個展を中心に各種イラストレーション、キャラクター制作、オリジナルグッズ販売などで活動中。また、秋田テレビ「catch-up」イメージキャラクターにも採用されている

忙しい原田さんの座右の銘は「余裕」なのだとか。「どんなに辛くても締め切りに追われていても、周りには『余裕!』と笑っている人でありたい。きれいな顔で湖を泳ぐ白鳥が、実は水面下で足をバタバタさせているみたいに。そういう生き様に憧れています」。落ち込んだ時は冷静に自分を見つめ、「きつとできる、何とかなるさ」と信じて」と話す原田さん。「落ち込んだらV字回復ですけれどね!」と笑顔を見せた。

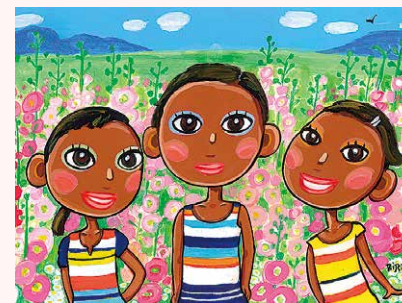
最近では東京で開催された展覧会への出品や、オーダーの依頼も増えてきた。家に帰れば主婦でもある。「両立は正直大変な時もあります。でも最近は家族も応援してくれるようになりましたし、新しく作業場も借りて、集中できる時間が増えたと実感しています。今後も機会があれば県外への出展やオーダー作品も少しずつ増やしていきたい。まだ借りたばかりだという新しい作業場の一角には、ファンからのプレゼントが並んでいた。愛が詰まったその部屋で、原田さんは今日もまた描き続ける。



ポストカード / 祭りの少女



ポストカード / 空と海と仲間たち



ポストカード / タチアオイが咲く頃